

コロナ禍の向こうへ

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）。中国武漢発の厄介な疫病は、これまでの「普通の生活」を根底から覆し、世界を変えつつあるようだ。この先どうなるのだろうか。

十四世紀ヨーロッパで大流行したペスト（黒死病、これも中国発らしい）は、当時のヨーロッパの人口の三分の一、二千万から三千万人の命を奪ったという。農村人口の激減は、封建領主と農民の力関係を換え、土地が農民の手に渡ったり、失われた村が牧草地となって、牧羊が盛んになり毛織物業が始まって、農村経済が発展したりと、封建制から資本社会への移行、ひいてはヨーロッパの覇権獲得への道を開いたともいわれる。一方、この疫病の流行に何ら有効な手立てを打ち出せなかった教会の権威は墜ち、人々ははにかに生きるべきかをギリシアとローマの優れた古典文化に範を求め、イタリアの「文化の復興・再生」運動、ルネサンスが始まった。「コロナ後」には何が起ころうか。

その前に、「コロナ」（COVID-19）で「起ったこと」をいくつかの例でみておきたい。チョちゃん風に、問いかける。
「ねえ岡村武漢ウイルス（新型コロナウイルス）、SARS-CoV-2）は、なんでイタリア北部で感染爆発したの？」
「サッカースタジアムでスペイン人と密集、密接で大騒ぎしたから」
「ラストアンサー？……ポーツと生きてんじゃねーよ」
「イタリア北部には、ファッション産業に従事する、湖北省武漢と往來の激しい浙江省温州市出身の中国人がたくさん住んでいるから」
が答えのようだ。そうした連中や観光客（前年比百万人増とかが、十二月・一月のクリスマス、旧正月に盛んに往來し、中国でコロナに感染して無症状か軽症かでイタリアに入り、拡散した。二〇二〇年七月現在、イタリアの感染者は二十四万人余り、死者は三万五千余人余りにのぼり、その多くが北部ロンバルディア州（州都ミラノ）

疫病の拡大を防ぐ最も有効な手段は「隔離」である。我が国と同じ島国の台湾は一月いっぱいで中国からの渡航者を止め、罰則を伴う特別措置法を布いた結果、感染者四百余人余り、死者七人で感染拡大を食い止めることができた。しかし、習近平に「付度」したか、三月まで中国人を渡航禁止にしなかった我が国は、八月四日には四万一千余人余りの感染者と、千人を超える死者を出している。さらに驚くのは、武漢市封鎖の直後に、北京の日本大使館のホームページに「さらに多くの中国の皆様が訪日されることを楽しみにしている」という安倍総理名義のメッセージが掲載されたことだ。二〇一九年の中国人観光客の日本国内における旅行消費額は、日本の名目GDPの0.32%に過ぎないというのに。中国を警戒し、国民の健康を守ろうと、効果的な感染症対策「隔離」をした政府と、しなかった政府の差が、これらの数字に見て取れよう。パンデミック後の国民生活支援にも、「国」の違いが表れる。

「四月七日、フリーランスへのコロナ給付金が振り込まれました!! なんと三ヶ月分、まとめて九千ユーロ(約百七万円)!! 発表通りでした。一ヶ月あたり三千ユーロ(約三十六万円)の緊急支援。先週インターネットで妻が申請、面倒な証明書類をいろいろ用意しなくても良く、国籍問わず、迅速な対応で、即・振り込みしていただきました。」
ドイツ在住の邦人が利用したバーデン・ビュルテンベルグ州による緊急援助プログラムだ。一か月三十六万円あれば、当面暮らせるだろう。しかし、我が国では、十万円一回こっきり。加えて、テレビのニュースは、給付金を支給する「国の借金が増える」と言い、解説者は「国の借金が増えれば財政破綻するから、国民が税金などで返さなければならぬ。次代にツケを回してはならない」と言う。国民は「大変だ」と思うが、現実には起っているのは、感染拡大防止のための社会経済活動停止による飲食業、運輸・宿泊業をはじめとするほとんどすべての業種での、わずかな給付金では到底埋め合わせることのできない大幅な収益減だ。「コロナ」で死

ぬか、恐慌で死ぬか。もちろんそのどちらでも死にたくない。
経世論研究所所長三橋貴明氏は、疫病と恐慌という二つの脅威と戦うために、日本政府が財政赤字を拡大し、国民を救ったとする。もちろん、財政赤字は五十五兆円以上に膨らむが、それで何が起きるかといえば、「何も起きない」……
問題は、
「国の借金で破綻する。」
と、間違った貨幣観を刷り込まれた国民が、財政赤字拡大に怯え、「民主制」により政府の財政拡大を妨害しようとする。あるいは、貨幣観を間違えた愚かな政治家たちが、

後援会からのお知らせ

●行事中止のご案内

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、今年度の以下の行事を中止します。
・ゴルフ大会
・研修旅行

●明日のちぎぎを拓くプロジェクト会議

原則、毎月最終水曜日の夜、市内で開催しています。

●お役立ち電車のアンケート

ご協力をお願いします。当面の目標は2,000です。後援会宛お電話ください。



2020年7月29日水曜日 肉のふきあげにて10名ほどのメンバーが集まり、本誌掲載の「田んぼダム」や「直通快速」「太平山再開発」実現のための構想や行動計画を話し合っており、皆様に、皆様とともに行動しようとしております。ちなみに飲食は自腹です。

●お役立ち電車のアンケート
●明日のちぎぎを拓くプロジェクト会議
●研修旅行
●ゴルフ大会

●員長「就任

われらが日向野義幸は、自由民主党栃木県連筆頭副幹事長、県政経営委員会委員長に就任しました。

●お邪魔しました!

県議・会長・会長代行で役員の皆様のお宅を訪問させていただきました。7月26日 藤岡・大平地区
8月1日 国府・大宮地区・旧市内、寺尾、吹上
8月2日 皆川地区・西方・都賀・美幸会。岩舟

コロナ拡大防止のため、30名程度で、各地区、県政報告会をお願いします。
●Twitter・ホームページ
Twitterのフォロー、ホームページの閲覧をお願いします。
Googleで「日向野義幸 栃木市」で検索すると、両方とも出てきます。ホームページに入ったら「よしゆきチャンネル」をお見逃しなく。

とちぎを守る 命を守る

新型コロナ感染対策は

令和2年度栃木県議会

第366回臨時会議 質疑

質問は6月29日(月) 行われ、日向野義幸県議が新型コロナウイルス感染症対策にしぼり、地域医療崩壊防止策等3点について県政を質しました。

県議会一般質問

1 感染症対策の検証と課題

感染防止と治療に携わった皆様に感謝するとともに、国や県のコロナ感染防止対策の検証と、今後の防止策を質しました。

2 医療提供体制の強化

冬季のインフルエンザの流行期と相まった第2波・3波に備えた医療提供体制の強化を質しました。

3 地域医療を守るために

重症患者用の人工呼吸器整備等の支援、インフルエンザ流行期の、医療機関が行う院内感染対策支援が予算化されました。



日向野義幸 県議 質問概要
地域医療の崩壊防止策は

本県では、県民の理解と協力、さらに、医療関係者や施設関係者の尽力により感



マスク姿で質問に立つ日向野義幸

染状況をうまくコントロール出来たと評価されています。
しかし医療現場では、限られた医療人員と医療資源での感染症患者対応に追われながら、院内感染による自身の感染リスクと必死に戦っています。
医療従事者に対する公的支援は万全とは言えず、医療提供体制がいつ崩れてもおかしくない状態です。
現場の医師、看護師の多くは、家庭内感染を恐れ近隣のホテル住まいが続くなど肉体的にも精神的にもギリギリの状態です。
加えて、感染症受け入れ医療機関の始末が、風評被害による外来患者の大幅な減少等により医療収入は激減しており、毎月大幅な赤字が計上される状況であります。



福田知事答弁
健康と命を支える地域医療
強い決意で誠実に取り組む

県では最前線で感染症と向き合う医療機関や医療従事者のご苦労に報いるため協力金と、医療従事者に対する応援金の制度を設け、交付手続きを開始いたしました。
今般の補正予算案では、医療収入が減少している病院等に対して、貸付限度を10億円の「新型コロナウイルス感染症医療機関緊急提言安定化資金」を創設し必要な経費を計上しました。

さらに、院内感染防止対策経費として、感染症患者受け入れの有無を問わず、幅広く助成し県民が安心して受診できる環境を整えます。
医療従事者の方々には慰労金を給付して、人材確保を図るなど、国の第2次補正予算を最大限活用し、総合的な地域医療の支援を行います。

今後も、医療機関の経営悪化、さらには医療崩壊という事態を招くことなく、県民の健康と命を支える地域医療体制をしっかり守るため、強い決意をもって、誠実に取り組んでまいります。

医療従事者・医療機関応援宣言

このような状況が続けば医療機関の運営が成り立たなくなる可能性が高く、地域の医療崩壊に直結する事態であります。地域の中核的医療機関がなくなると言う事は、県民の健康と生命の維持に直結をすることであり、地域の医療崩壊を防ぐなくてはなりません。

県は地域医療を守るために、病院経営の中長期的視点に立ち、どう取り組んでいくのか知事に伺います。

未来ネットワーク通信

ひがの義幸 県政だより

2020.9

編集・発行 ひがの義幸後援会総連合会
発行日 令和2年(2020)9月●●日
編集発行責任者 高田 良久
事務局 〒328-0075 栃木県栃木市箱森町7-9
TEL 0282-23-8855 FAX 0282-23-8856
E-mail info@higano.jp

■ひがの義幸 ホームページ・ツイッター アドレス
H P www.higano.jp
Twitter https://mobile.twitter.com/yoshiyukihigano

未来ネットワーク通信

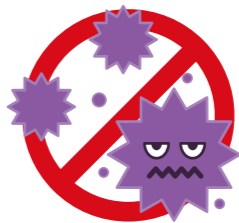
2020年9月号

コロナ対策費 補正予算

県議会第366回臨時会は6月26日に開会され、新型コロナウイルス感染症対策費を盛り込んだ総額978億円の「2020年度6月第2次補正予算案」が審議された。

福田知事は「感染の再拡大に備え、医療提供体制や検査体制の強化を図るほか、社会経済活動の本格化に向け、プレミアム付商品券を発行する」と説明。

29日に議案の質疑・質問、常任委員会での審議が行われ原案どおり可決されました。



■6月補正予算の概要

■感染の拡大に備えた取組	352億円
・医療提供体制の強化	202億円
・調査・検査体制の強化	5億円
・感染拡大防止対策	53億円
・医療従事者への慰労金の支給	92億円
■社会経済活動の本格化に向けた取組	626億円
・生活に困っている世帯への支援	36億円
・県内事業者への支援	541億円
・消費喚起・観光需要回復の促進	18億円
・県産農産物等の需要回復の促進	6億円
・学びの保障のための環境整備	24億円
・スポーツ・文化活動への支援	1億円



令和2年(2020)8月5日栃木市役所市長室にて 大川秀子栃木市長に提言書「栃木市街の巴波川氾濫防止に田んぼダム」を提出 (左から古澤会長代行、日向野県議、高田後援会長、大川市長、森田チーフ、平野チーフ、坂本委員)



小堀市議会議員・梅澤副議長に田んぼダム提言書・直通快速構想を説明

市へ治水対策の提言

巴波川の氾濫対策に

田んぼダム

日向野幸後援会「治水対策プロジェクトチーム(森田昇一代表)」が、毎月の定例会で検討してきた栃木市の治水対策の第一弾として8月5日に、高田後援会長、及び、日向野県議と共に、栃木市役所を訪れ大川秀子市長、小堀良江市議会議員に、栃木市の治水に関する提言書「栃木市街の巴波川氾濫防止に田んぼダム」を提出しました。

昨年の台風19号により甚大な被害のあった永野川、巴波川の改良復旧は、国の採択を受け事業着手となりましたが、巴波川については、引き続き氾濫防止対策が必要であり巴波川上流地域の西方・都賀地域に「田んぼダム」の実施を提言したものです。

田んぼダムが実現できれば、従来より50万トンを超える貯流量の増加が見込まれ、巴波川への流入量も減少します。

みんなで考えよう

太平山再開発

「ぐったり通り過ぎただけ」7,000本の桜の名所でありながら、何年も続く太平山の花見渋滞。花見客は駐車場不足による渋滞で花見をゆっくり楽しむ事なくただ通り過ぎるだけ。

また道幅が狭く曲がりくねった道路からは桜の木がせり出し観光バスの運転手の行く手を邪魔する。桜の観光名所となった今では、昭和9年(約85年前)に新設された道路は充分な役割を果たしていないのではないのでしょうか？

太平山本来の持つ魅力を広め、その周りに住む人たちがそこに来る多くの人が満足できるように太平山再開発が必要だと考えます。後援会として動き出したところ、いろいろ



太平山神社

- 1 太平山ハイキングの人達の視点(車以外で来る人のアクセスや、入浴施設等)
 - 2 山麓のぶどう農家の視点(ぶどう団地と太平山観光客の関係)
 - 3 大平山神社や周辺社寺の視点(観光資源としての歴史・信仰)
 - 4 茶店の視点(繁忙期と閑散期それぞれの現状と課題を聞く)
 - 5 桜、紫陽花の視点(古木になった桜の管理と処分)
 - 6 交通渋滞の視点(道路の導線、駐車場)
 - 7 栃木市・栃木県の立場(歴史・自然の保護、観光振興の課題等の情報交換)
- そのほか、実際に太平山麓を歩いてみて、自然や歴史、地形等を勉強して、太平山の現状と課題を精査していこうと考えます。
- 皆様にもご意見・ご要望をいただきご協力くださるようお願いいたします。(楠興宗人)

東京駅82分、羽田空港102分、乗り換えなし!

お役立ち電車を 実現しよう!!

皆様におかれましてはコロナ禍の大変厳しい状況の中、いかがお過ごしでしょうか。

身の安全を守る新しい生活様式も仕方ないことではありますが大変不自由を感じます。しかし、そんな状況も夜明けの来ない夜はないとの話通りそろそろアフターコロナに向け準備を始める時期かもしれません。

この地区の皆さんは旅行やビジネスで、東京へそして羽田空港へ車以外ではどのように向かわれていますか。おそらく東武線にて北千住、浅草線から地下鉄の利用、もしくはJR両毛線にて小山経由の新幹線や東北線、山手線やモノレールでのお出かけだと思います。多くの乗り換えや費用が掛かり不便をお感じではないですか。もし乗り換えすることなく東京や羽田空港へ行ければ。

本年2月にはJR東日本が東京都心部と羽田空港を結ぶ新路線「羽田空港アクセス線」を2029年の開業を目指し準備を始める旨の発表がありました。またアフターコロナの状況になれば政府の推進する「65キャンペーン」も相まって都心へそして羽田空港への本県からのアクセス需要も高まっていくことが予想されます。

私たちはJR、東武鉄道に働きかけ、相互乗り入れにより栃木県内から東京経由の羽田空港まで乗り換えなしでのアクセスを可能にするべく活動を始めました。



新幹線利用、山手線、モノレールを経由した場合、運賃約4,300円(特急券含む)時間は110分、東武線特急を利用し地下鉄、京急利用で約2,700円、時間は121分、乗り換えはそれぞれ3回と2回です。しかしこの活動が実を結べば、乗り換えなしで運賃は2,300円程度(座席指定券含む)所要時間102分程度のアクセスが可能になります。

是非この活動を多くの皆様にご理解、ご賛同いただき、この地域がより便利に、より快適になりますよう、皆様のご協力何卒よろしくお祈りいたします。(平野和正)

アンケート

東京・羽田 乗り換えなし102分
栃木の未来を開くお役立ち電車実現へ

「回答一つ」と「複数回答可」があります。よろしくお祈り致します。

- 1 このような電車があったら、利用しますか? (回答一つ)
1. 利用する 2. 利用しない 3. わからない 4. その他
- 2 何時ごろの電車を望みますか? (複数回答可)
羽田に 1. 午前中に高く 2. 昼頃に高く 3. 午後高く 4. 夕方高く 5. 夜高く
具体的には 栃木発 栃木に 1. 午前中に高く 2. 昼頃に高く 3. 午後高く 4. 夕方高く 5. 夜高く
具体的には 栃木発 栃木に
- 3 表1に記した直通快速電車が座席指定になった場合、乗車券のほかに座席指定料金が掛かります。料金が掛かっていても、この電車を利用しますか? (回答一つ)
1. 料金が掛かっても利用しない 2. 料金の額によっては利用する
- 3 「料金の額によっては利用する」と答えた方にかかっています。いくら位までなら利用しますか? ちなみにJRの現在の座席指定料金は概ね¥530~830くらいです。(回答一つ)
1. ¥600以下 2. ¥800以下 3. ¥1,000以下 4. ¥1,200以下
5. その他(¥)
- 4 上記の頻度はどれくらいですか。近いものをお答えください。(回答一つ)
1. 毎日 2. 週に数回 3. 月に数回 4. 年に数回 5. 数年に1回 6. その他
- 4 上記の主な目的は何ですか? (複数回答可)
1. 仕事 2. 買い物 3. レジャー(劇場・展覧会など) 4. その他
- 5 現在は主にどのように上京しますか。複数使う場合は、頻度順に1・2をお答えください。(複数回答可)
参考までに片道のおおよその経費を記します。(複数回答可)
1. 東武線(乗車券¥1,100/特急券¥1,200) 2. 新幹線(¥3,800)
3. 東武線を含むJR在来線(¥1,500) 4. 高速バス(佐野新都市から¥1,700)
5. 自家用車(高速料金¥3,600) 6. その他
使用頻度 1. 2.
- 5 地元でよく利用する駅は何駅ですか? (回答一つ)
1. 栃木 2. 新栃木 3. 合戦場・家中・東武金崎 4. 新大平下・静和・藤岡
5. 野州平川・野州大塚 5. 両毛線(大平下・岩舟) 6. 小山 7. 小金井 8. 古河
9. その他
- 6 この電車で期待すること、要望すること、など、ご自由にお書きください。
- 7 最後に、集計に必要な項目にお答えください。
性別 男性・女性 3. その他 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代
年齢 1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代
7. 70歳代 8. 80歳代以上
職業 1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. 農林漁業 4. 主婦 5. パート 6. 学生
7. その他
ご協力ありがとうございました

栃木の未来を開くお役立ち電車実現へ!

日向野幸後援会 栃木県栃木市箱崎町7-9 TEL.0282-23-8855 FAX.0282-23-8856 発行責任者:高田良久

令和11年(2029年)の開業を目指し、羽田空港と東京都心を直結する路線の建設が計画されています。栃木県と羽田空港を乗り換えなしで結びませんか?
そうすれば、大宮、上野、東京も乗り換えなし。東海道、北陸、上越新幹線も便利になります。

両毛線経由	東武日光線経由
明生	東武日光
足利	下今市
佐野	新藤原
栃木	栃木
小山	板倉東洋大前
久喜	(乗換)

運田 大宮 東京 東海道新幹線 羽田空港

羽生始発、両毛線・JR宇都宮線まで来た電車6両と、東武日光始発、東武日光線を走り、乗換でJR宇都宮線に入った電車6両が、運田で連結。12両で大宮、東京、羽田空港に向かう構想です。

区間	現状	直通快速
栃木-羽田空港	両毛線・新幹線・京急線経由 1時間44分 乗換3回 ¥4,062	両毛線経由 1時間42分程度 乗換なし ¥1,800程度
	東武線・常磐線・京急線経由 2時間26分 乗換3回 ¥1,502	東武線経由 1時間45分程度 乗換なし ¥1,500程度